

20011

当施設における OCT の使用経験

<sup>1</sup>信州大学医学部附属病院、<sup>2</sup>信州大学医学部附属病院

新井 克哉<sup>1</sup>、窪田 寛之<sup>2</sup>、宮川 潤<sup>2</sup>、村山 寛朗<sup>2</sup>、武井 学<sup>2</sup>、愛多地 康雄<sup>2</sup>

<背景>昨年 11 月の心カテ装置の更新にされ、それに伴い OCT が導入され 1 年が経過した。近年 PCI において、血管内のプラークの性状を把握することは重要で、当施設でも OCT 適応症例も増える傾向である。そこで、当施設における OCT の使用経験と症例報告をする。<内容> 1. 検査前の OCT 準備から検査中の放射線技師の対応 2. OCT 臨床症例 3. インジェクション法の検討<まとめ>今後 OCT 手技方法の検討を行っていきたい。